

中国イノベーションセンター上海分公司、新社屋を建設 ～資生堂 グローバル R&D 体制を強化～

資生堂は最重要市場の一つである中国での R&D を一層強化するため、資生堂(中国)研究開発中心有限公司 上海分公司(中国イノベーションセンター上海分公司)の新社屋を建設し、11月11日に開所式を開催しました。今回のスペース拡張と人員増強による R&D 強化、また昨年行なったマーケティング機能の日本から中国への移管により、市場調査や企画立案から処方設計、製品設計、製品保証、生産まで全て中国で完結し、お客さま満足度の高い製品開発をこれまで以上にスピーディに進める体制が整いました。今年5月に拡張オープンしたアメリカイノベーションセンター、2018年末の日本におけるグローバルイノベーションセンター設立を控え、世界5カ国9カ所に及ぶ研究開発拠点を整備し、お客さまにより密着した価値創造を推進します。



新社屋外観



開所式 テープカット

中国イノベーションセンター上海分公司の拡充

資生堂は2020年までの中長期戦略である「VISION 2020」に基づき、グローバルレベルでブランド価値向上と事業構造の改革に取り組んでいます。この戦略の一環として世界5カ国9カ所の研究開発拠点の強化と、そのネットワークの整備を進めており、各地域のお客さまの心に共鳴する価値を作り上げる研究拠点づくりを進めています。

中国では2001年に北京で資生堂(中国)研究開発中心有限公司(中国イノベーションセンター)を設立し、現地に密着した化粧習慣や肌、毛髪研究を重ね、中国のお客さまのニーズに応える製品開発を進めてきました。2015年10月、上海分公司を設立後は上海に拠点を置く資生堂(中国)投資有限公司が開発するウララ、ピュア&マイルド、アクエアの研究開発をサポートしてきました。

今回の上海分公司の機能強化により、北京・上海それぞれの拠点で研究開発機能とマーケティング機能が一体となり、スピーディにお客さま満足度の高い製品開発が可能となりました。今後も中国国産ブランドのさらなる研究開発強化を進めていきます。

グローバル R&D 体制の強化

資生堂は「VISION 2020」の一環として、イノベーションを実現する研究開発投資を拡大していきます。グローバルレベルでの研究開発力の最大化に向け、主に基礎・基盤研究や新分野の研究を担う日本のグローバルイノベーションセンターをハブとし、各地域の研究開発拠点をスポークとする「ハブ&スポーク体制」を整備し、世界中のお客さまに最適な価値を提供していきます。

今回増強した中国イノベーションセンターを始め、アメリカ、ヨーロッパ、東南アジアなどの各拠点ではそれぞれの地域における市場調査に基づき、ユーザーの肌、化粧習慣、化粧意識について掘り下げた研究を展開するとともに、現地マーケティングとの連携を強化し、ユーザーの心理的訴求を熟知し、革新的な製品の開発を実現していきます。こうした体制を整えるため、2020 年度には全世界の研究所のスタッフを現在の約 1,000 名から 1,500 名規模まで拡大するとともに、研究開発費を対売上高比率で現在の 1.8%から 2.5%まで拡大します。



中国イノベーションセンター上海分公司の概要

【名称】 資生堂(中国)研究開発中心有限公司上海分公司

【所在】 上海張江高科技園區龍東大道 1558 号

【設立】 2015 年 10 月 21 日、(2016 年 11 月 1 日 新社屋稼動)

【敷地面積】 969 m²

【総経理】 高須 恵美子

【副総経理】 八木 克彦